



いとう きんいち  
伊藤 欽一 議員

# インフラ整備は計画的に アセットマネジメント計画策定中



漏水している町道内山長尾線

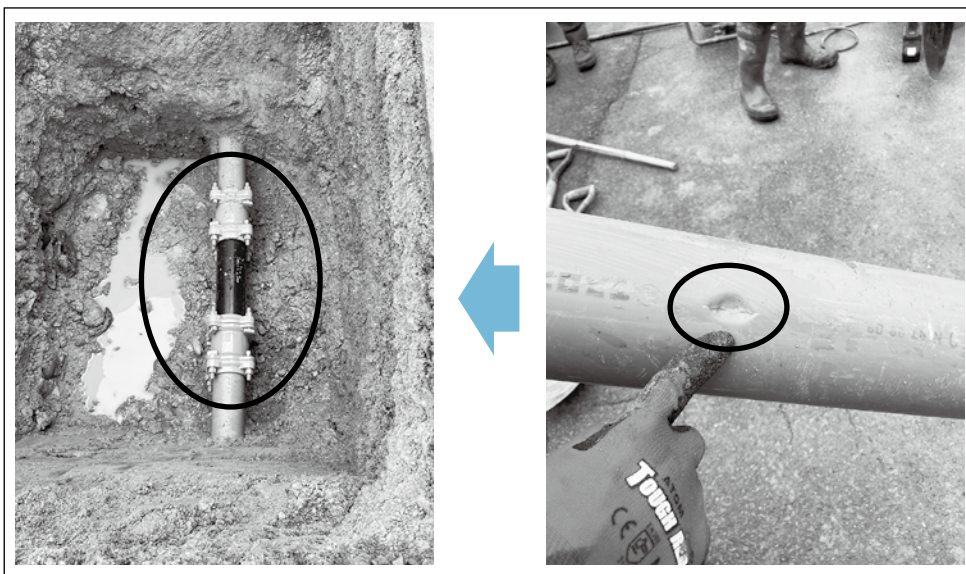
**質問** 町道内山長尾線で陸羽東線、中の山踏切から長尾町内方面への約500m間で、水道本管を修繕し舗装復旧した痕跡が30箇所以上確認できます。平成30年の豪雨災害以降とくに漏水箇所が多くなったように思います。令和元年から各年度ごとの修繕回数と、一か月で2回以上修繕した回数

は何回あったのか。令和元年から令和7年8月末までの修繕に要した金額の総額はいくらか。上水道は生活に直結した重要な施設のため、これほどの漏水修繕があるなら、計画的に本管の入れ替えを考えるべきだと思います。住民生活の安全安心を担保するためにも、早急に計画し実施すべき

**町長** 長尾踏切から長尾町内方面の区間における修繕回数については、令和元年度2件、2年度1件、3年度2件、4年度10件、5年度12件、6年度13件、7年度は8月末までで8件となっています。1か月に2回以上修繕した月は、令和4年度3回、5年度2回、6年度4回、7年度3回です。令和元年度から令和7年8月末までの修繕に要した経費は約3976万円です。

本区間については、塩化ビニール管から、耐衝撃強度が高く、地震にも強い、高性能高密度ポリエチレン管に入れ替える工事を、今年度から計画しており、令和9年度の完成を予定しています。水道管の更新計画については、令和8年から10年間を計画期間として、長期的な更新需要や財政収支の見通しを立てるア

セットマネジメント計画を現在策定中です。ただし、水道会計においては経営状況が厳しく、老朽化した管を計画的に更新していくには長い期間を必要とするため、漏



漏水原因のビニール管と本管修繕終了後

水状況を目安に、必要に応じて更新せざるを得ない状況です。



かなうち まさき  
叶内 昌樹 議員

# 女神ミュージアムの進捗状況は

## 補助制度を検討し準備を進める



国宝級の維持管理には最上全体の協力が必要

**質問** 現在は西ノ前遺跡公園とし「女神の郷」が整備され「縄文の女神」の実物は、山形県立博物館に常時展示、レプリカは舟形町歴史民俗資料館に展示されています。町では「縄文の女神」の活用を掲げ、ミュージアム建設計画を進めています。現在の進捗状況について町長に伺います。

**町長** 町では、国宝土偶「縄文の女神」が故郷舟形町に帰ってくるように、令和3年度に町プロジェクトチームを組織しました。令和4年度には、展示・収蔵施設「縄文の女神ミュージアム（仮称）」の基本構想をまとめ、展示スペースや、デジタル技術を用いた体験型演出、カフェ・特産品販売・観光情報発信スペースなどを備えた複合施設としての整備を目指しています。令和5年12月には、山形県知事に対し「縄文の女神」の帰還に関して要望し、町の意向を伝えまし

**町長** 東北農林専門職大学の学生向けアパート付近にコインランドリーを設置するよう要望しています。設置については株式会社クリエイト礼文に要望をしております。詳細にはまだ決まっております。町が事業主体ではないため整備計画については、町は持っておりませんが、引き続き株式会社クリエイト礼文に対

**質問** 町民や議員から要望があったコインランドリーの整備の詳細な計画について町長に伺います。

た。今年度も、計画の具体化や補助制度の検討、関連施策制度研修などを通じて、施設の整備に向けて準備を進めていきます。



建設予定地は「ふなぼん」脇

してコインランドリーの誘致を要望してまいります。